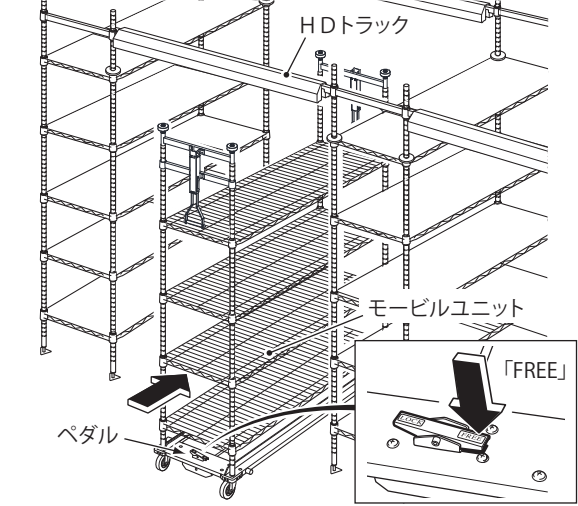


モービルユニットの操作手順

■ HDトラックへの収納

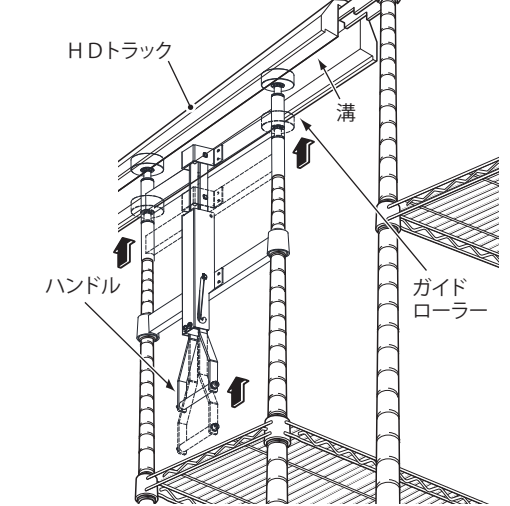
1 HDトラックの下にセット

ドーリーのペダルを「FREE」側に踏み込んだ後、HDトラックの下にガイドローラーが来るよう固定ユニットと平行にセットします。



2 ガイドローラーを差し込む

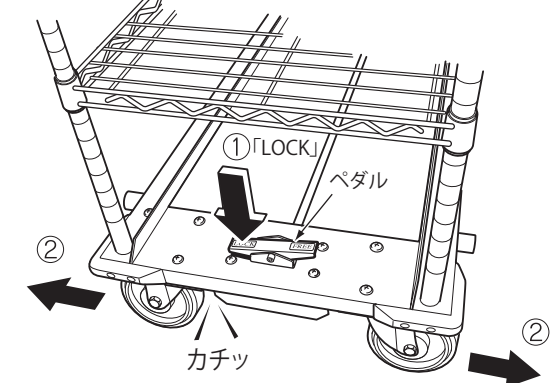
ハンドルを上げて、ガイドローラーをHDトラックの溝に差し込みます。(反対側も同様に)



3 キャスターを「LOCK」

ペダルを「LOCK」側に踏み込んだ後、モービルユニットを左右にスライドさせ、すべてのキャスターが外向きに固定されたことを確認してください。これでセット完了です。

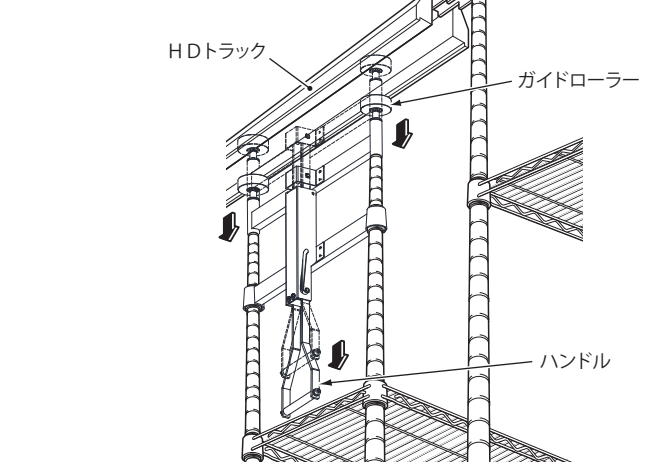
ご注意 キャスターの向きを変える場合、手や足を使って向きを変更しないでください。



■ HDトラックからの取り出し

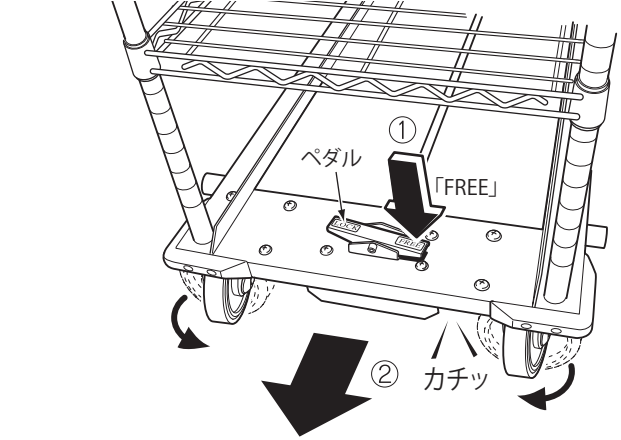
1 ガイドローラーをHDトラックから外す

ハンドルを下げて、ガイドローラーをHDトラックの溝から外します。(反対側も同様に)



2 キャスターを「FREE」にして引き出す

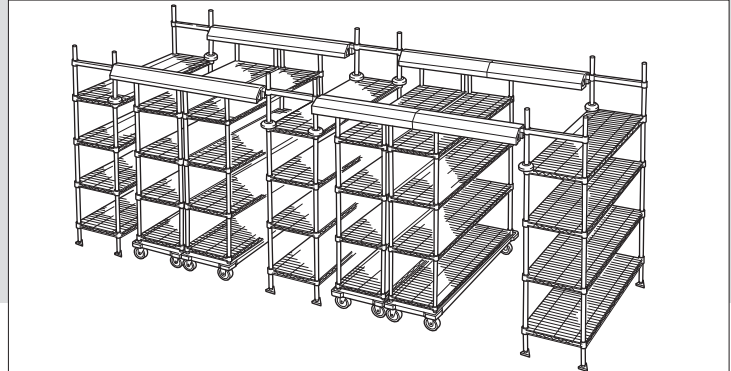
ペダルを「FREE」側に踏み込んだ後、モービルユニットを引き出します。



ERECTA スーパーシリーズ 取扱説明書 トップトラック

2023.12

この度は、エレクター製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。本製品を安全にお使いいただくために、この説明書を良くお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。



ご使用前に必ずお読みください

- この説明書はご使用中、分解時に必要となりますので、組み立て後もお手元に保管してください。
- 組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。
- 組み立ては、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく組み立ててください。
※ 誤った組み立ては破損やケガの原因となります。
- お取り扱い上の不注意や製品の改造により生じた機能低下や事故については責任を負いかねます。
- ご使用になる方は記載の「警告・注意」をよくお読みいただき厳守していただくようお願いいたします。

警告・注意



● **耐荷重を超えて物を載せないでください。**
耐荷重を超えた負荷を与えると、製品が破損する恐れがあります。

棚一段あたり耐荷重	間口1220mm以下:250kg(等分布)／間口1520mm以上:150kg(等分布)
総耐荷重	固定ユニット:1000kg(本体の自重含む)／移動ユニット・モービルユニット:300kg

- **転倒にご注意ください。**
移動ユニットは段差に当たった時や、側面から急に力を加えた場合、転倒する恐れがあります。走行時は床面に注意し、本体を支えながら移動してください。また積載物の重量が上部に集中しないよう注意してください。
- **本製品を踏み台にしたり、ぶら下がったり上に登るような行為は絶対に行わないでください。**
転倒や積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。
- **製品の改造は機能低下・事故・破損の原因となりますので、絶対におやめください。**
- **移動ユニットを移動する際は、周囲の安全に十分配慮するとともに急な操作をしないでください。**
特に重量物の積載時には慣性が働き、不用意に扱うと重大な事故を起こす恐れがあります。



- 組み立ては安全のため、必ず複数名で作業し、平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。
床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。
- 固定部品がズレたり、棚が水平になっていないなど組み立てが不完全な場合は、そのまま使用せずにもう一度組み立てなおしてください。
- 傾斜した所や、段差があるなど不安定な場所には設置しないでください。転倒や積載物の落下により思わぬ事故の原因となります。
- 本製品の使用環境の設定は-10℃～+60℃の屋内仕様となっています。火気の側や屋外など異なった環境では使用しないでください。
- HDトラック取り付けボルトやジョイントボルトのゆるみ、固定・移動ユニットの組み付け等を定期的に点検してください。
- 上部アタッチメントは走行時の振動やハンドルの上下動作によりクロスバーのはまり込みが緩くなる場合があります。
緩むことによりハンドルの上下動作が固くなる場合があるので、定期的に点検してください。

ご使用上の注意

- 棚板のメッシュよりも小さいものは、落下して破損する原因となりますので、載せないようにしてください。
- 酸／アルカリ性の強い環境下での使用は避けてください。
- 清掃の際には中性洗剤をご使用し、水分が残らないよう乾いた布で拭き取ってください。
- 本製品は磁気を帯びる場合があります。
電化製品の中には、磁気の影響を受ける場合があります。
万一異常が生じた場合は、対象機器のメーカーや販売店等にお問合せください。
- ステンレス製品の場合でも、使用環境によっては錆が発生する場合があります。錆の発生を防ぐために、下記内容にご注意ください。
・こまめに清掃を行い、表面の付着物を除去してください。

目次

システム構成……………P-2
構成部品

I. 固定ユニットの組み立て……P-3～4

- 1. フットプレートの組み込み
- 2. 棚の取付位置決め
- 3. 最下段の組み付け
- 4. 2段目以上の棚板を組み付け
- 5. クッションゴムの取り付け
- 6. 固定ブラケットの取り付け
 - 中間固定ユニットを設置する場合
 - ダブルブラケットの組み付け
- 7. 固定ユニット完成外観

II. 移動ユニットの組み立て……P-4

- 1. アジャストボルトの抜き取り
- 2. ドーリーにボールを組み付け
- 3. 最下段の組み付け
- 4. 2段目以上の棚板を組み付け
- 5. ガイドローラーの組み付け
- 6. 組み立て、設置位置の確認

III. HDトラックの組み立て…P-5

- 1. ジョイントの組み付け
- 2. ジョイントの固定
- 3. エンドキャップ、ホワイトキャップ組み付け
- 4. HDトラックの組み付け
 - 中間固定ユニットを設置する場合
- 5. HDトラックの固定
- 6. 完成チェック

IV. モービルユニット……………P-6～7

■ モービルユニットの組み立て

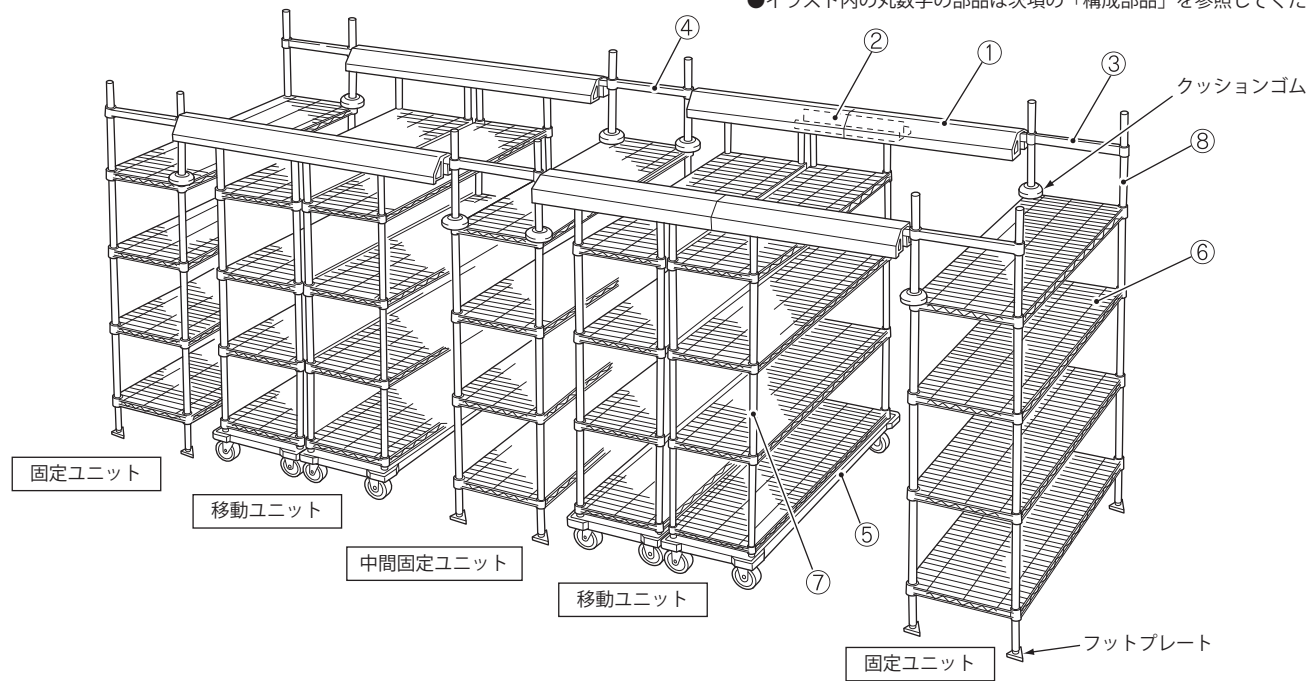
- 1. アジャストボルトの抜き取り
- 2. ドーリーにボールを組み付け
- 3. 最下段の組み付け
- 4. 2段目以上の棚板を組み付け
- 5. 上部アタッチメントの組み立てと最上段の棚の組み付け

- ① 上部アタッチメントの組み立て
- ② 最上段の棚板の組み付け

■ モービルユニットの操作手順……………P-8
HDトラックへの収納
HDトラックからの取り外し

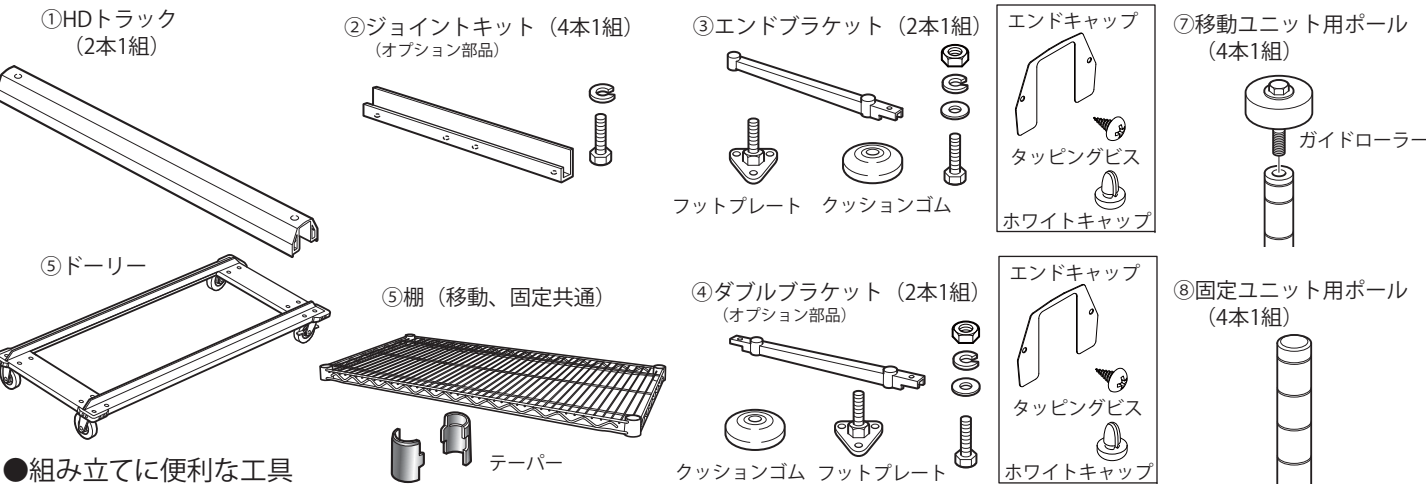
システム構成

●イラスト内の丸数字の部品は次項の「構成部品」を参照してください。

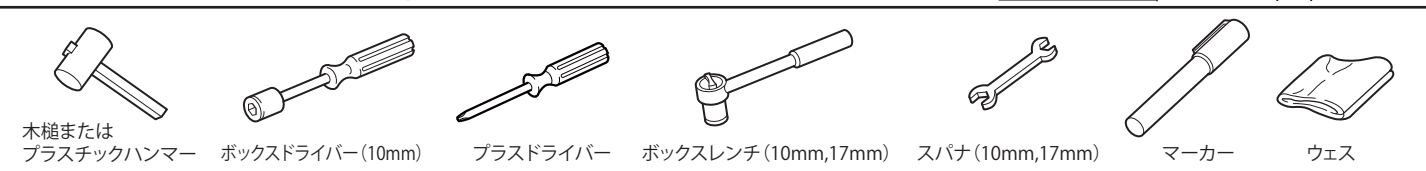


構成部品

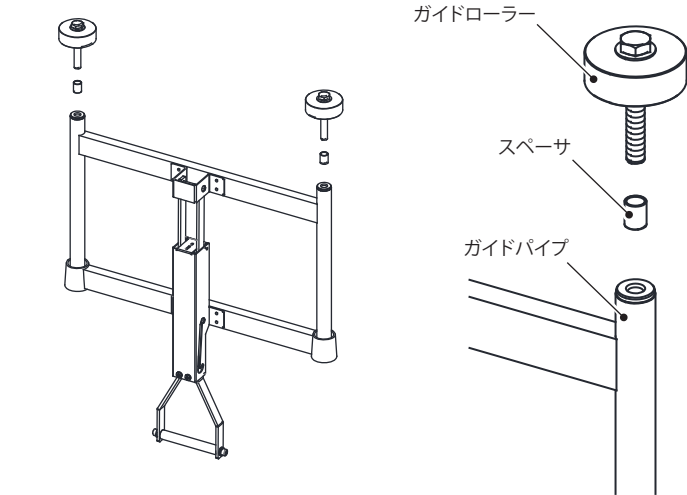
※モービルユニットの構成部品は組み立て説明の項で記載します。



●組み立てに便利な工具



A 上部アタッチメントの組み立て

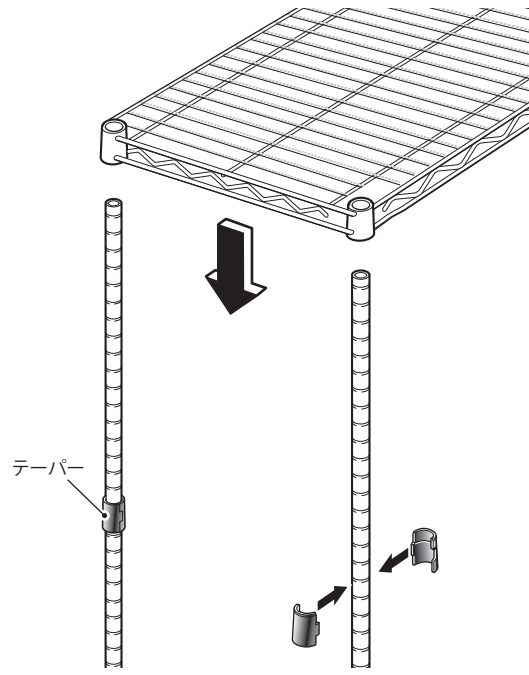


ガイドローラーのねじ部分にスペーサーを差し込み、ガイドパイプ上部にねじ込んでください。取り付けの際は、スパナ等を用いて固定してください。

B 最上段の棚板の組み付け

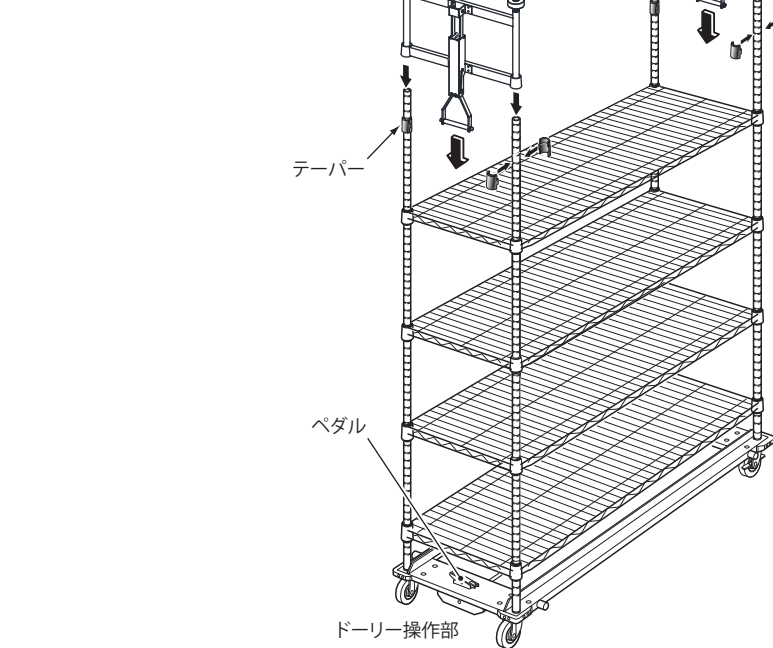
① 最上段の棚板を組み付け

組み付け位置（ポールの上から7番目の溝より下）を確認し、最上段の棚を組み付けます。



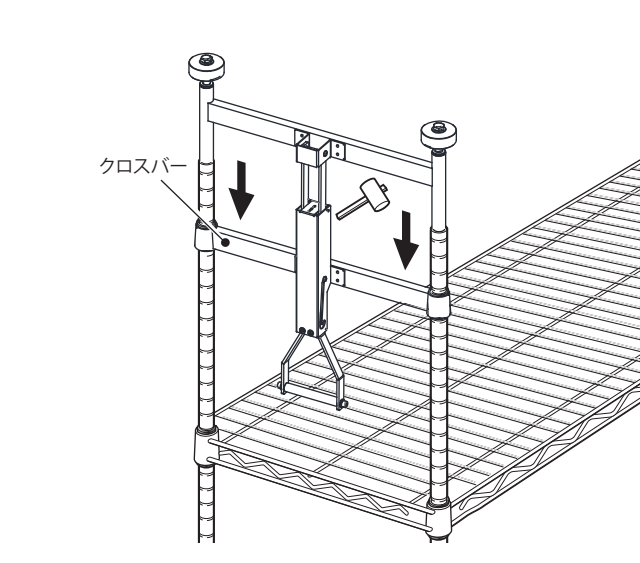
② 上部アタッチメントの組み付け

ポールの上から「5番目」の溝にテーパーを取り付けて上部アタッチメントを組み付けます。



③ 組み立ての確認

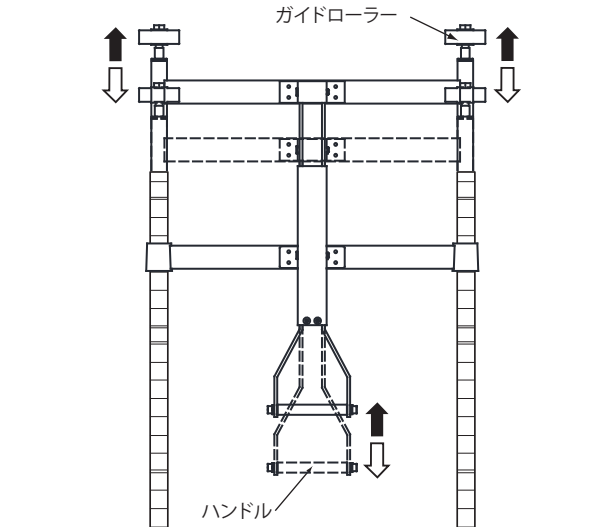
クロスバー上部を木槌またはプラスチックハンマー等でたたき、しっかり固定します。



④ ハンドル操作の作動確認

ハンドルを上上げるとガイドローラーが上がり、ハンドルを下に下げるとガイドローラーが下がります。

●注意 操作時はハンドルから手を離さないでください。



Ⅳ. モービルユニット

※組立時に本体が転倒しないようご注意ください。

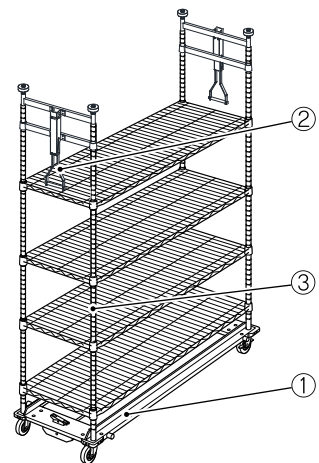
警告・注意



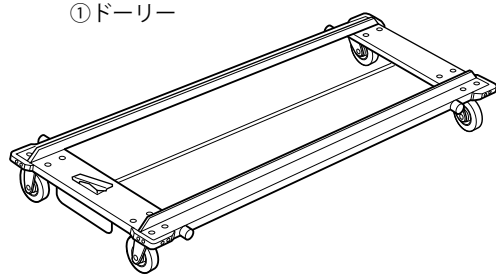
注 意

- モービルユニットがH Dトラック内にあるときは必ずペダル位置を「LOCK」にし、ガイドローラーを上げてご使用ください。H Dトラック外にあって移動するときは必ずペダル位置を「FREE」にし、ガイドローラーを下げてご使用ください。
- ペダルを「LOCK」と「FREE」の中間位置に固定しないでください。ペダル操作は必ず足で行ってください。
- 移動する際は、周囲の安全に十分配慮してください。

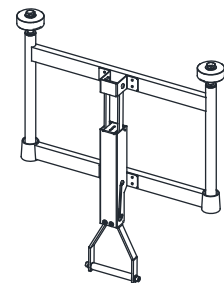
構成部品



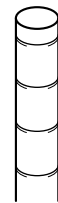
①ドーリー



②上部アタッチメント (2台・左右)



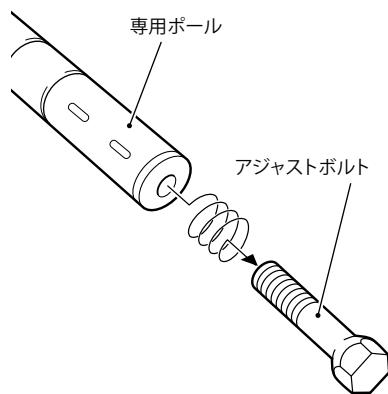
③専用ポール (4本1組)



■ モービルユニットの組み立て

1 アジャストボルトの抜き取り

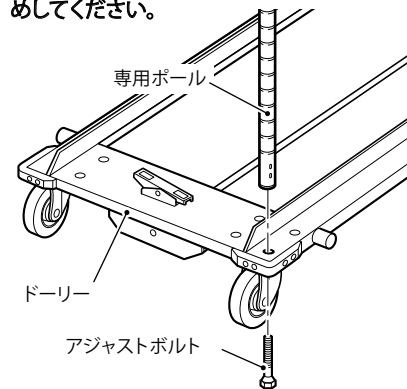
ポール下部についているアジャストボルトを抜き取ります。



2 ドーリーにポールを組み付け

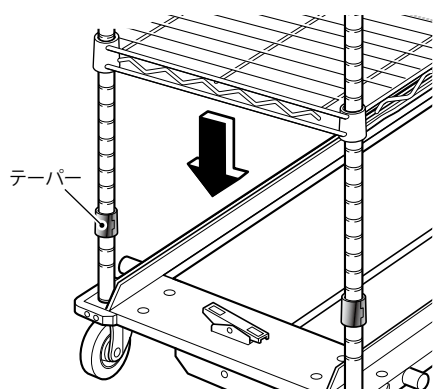
ドーリーの四隅の孔にポールを合わせて、ドーリーの下からアジャストボルトをねじ込み仮止めます。

棚を組み立てた後、アジャストボルトを本締めしてください。



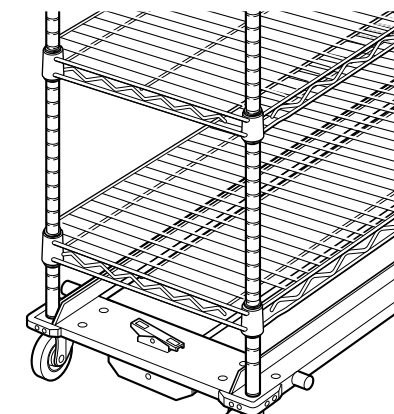
3 最下段の組み付け

ポールの溝 (下から3番目以上) にテーパを取り付け、棚を上方からテーパの位置まで下げて固定します。木槌またはプラスチックハンマー等で四隅のコーナーリング周辺を交互にたたいて固定します。



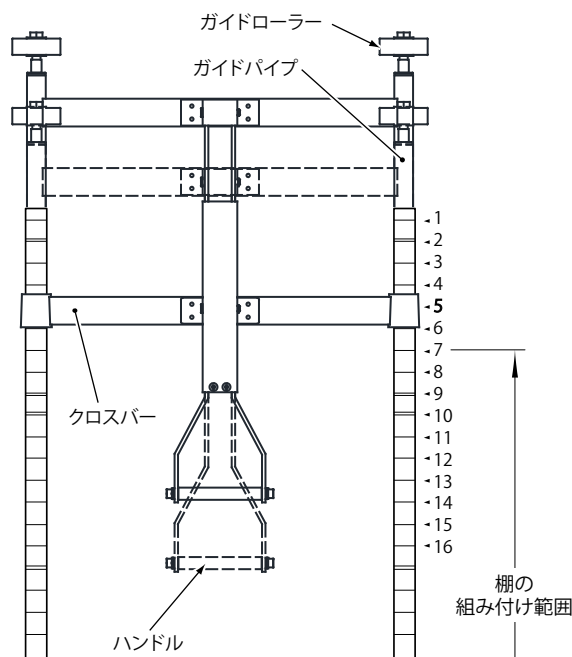
4 2段目以上の棚板を組み付け

各段の組み付け位置を確認し、2段目以降を組み付けます。ただし、最上段棚を組み付けるときは5を参照してください。



5 上部アタッチメントの組み立てと最上段の棚の組み付け

上部アタッチメントは必ずポールの上から「5番目」の溝に組み付けます。最上段の棚は上部アタッチメントのクロスバーより下 (ポールの上から「7番目」の溝より下) に組み付けてください。

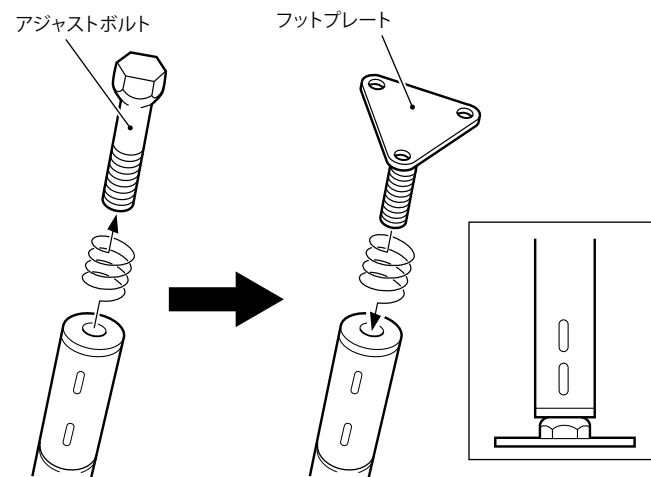


Ⅰ. 固定ユニットの組み立て

※組立時に本体が転倒しないようご注意ください。

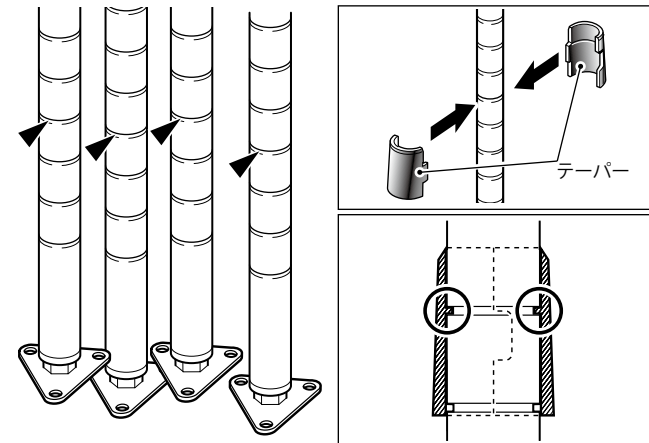
1 フットプレートの組み込み

固定ユニット用ポール (長いサイズ) に付属しているアジャストボルトをフットプレートに差し替え、根元まで軽くねじ込みます。



2 棚の取付位置決め

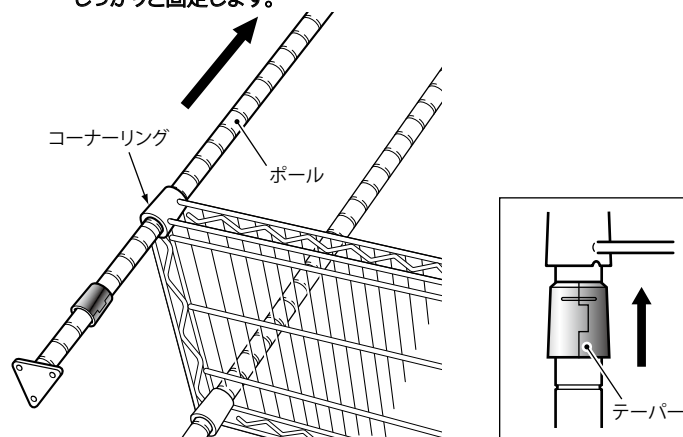
最下段の棚位置に合わせ、テーパを組み付けます。テーパは厚みのある方を下向きに、テーパの凸部とポールの凹溝を合わせ、取り付けます。ポールの1インチ (25.4mm) ピッチの溝、あるいは約20cm毎に印されたダブルラインを目安にしてマーカールなどで印をつけると便利です。



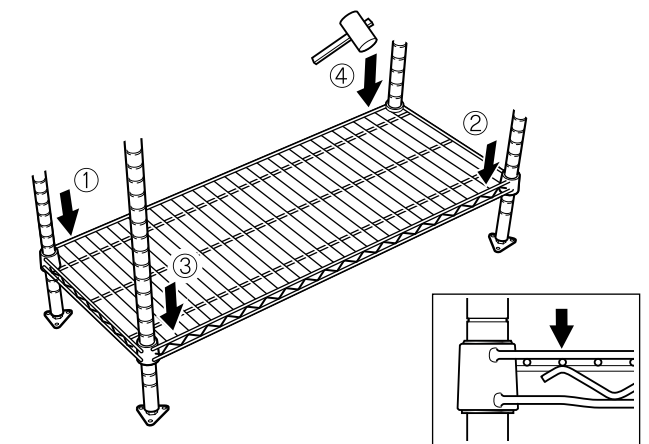
3 最下段の組み付け

棚板を横にして、四隅のコーナーリングに4本のポールをテーパ部分まで差し込みます。

【注意】テーパがはずれたり、ズレたりして落ちないように、しっかりと固定します。

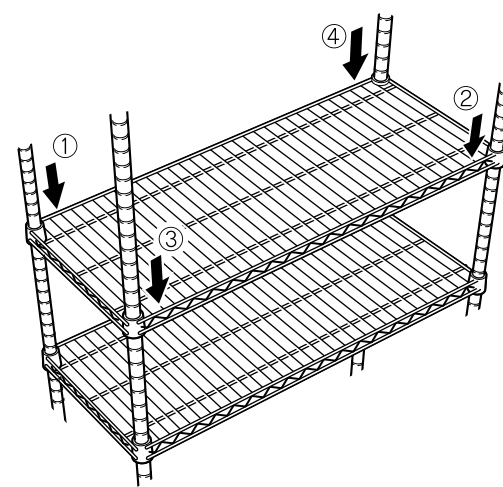


ポールを直立させて、木槌またはプラスチックハンマー等で四隅のコーナーリング周辺を交互にたたいて固定します。この時、テーパがズレずにコーナーリングと正しくかみ合っていて、水平に棚板が組まれているか確認してください。



4 2段目以上の棚板を組み付け

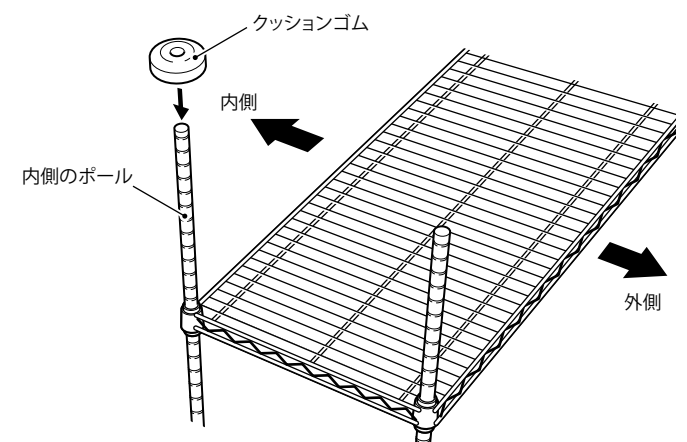
以下2同様にポールにテーパを取り付け、棚板を上方からテーパの位置まで下げて固定します。以後、同じ手順で棚を組み上げてください。



5 クッションゴムの取り付け

最上段の棚板を組み付け終わったら、クッションゴムを内側のポールに差し込みます。(前頁の「システム構成」イラスト参照)

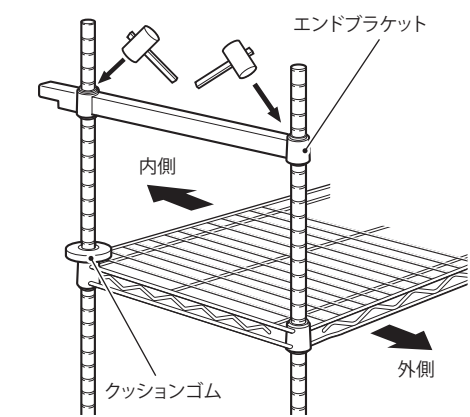
【注意】クッションゴムがエンドブラケットと干渉する時は、棚を一段下へ付け替えてください。



6 固定ブラケットの取り付け

ボールの上から「5番目」の溝にテーパーを取り付けて、エンドブラケットを組み付け、木槌またはプラスチックハンマー等で打ち込み、固定します。

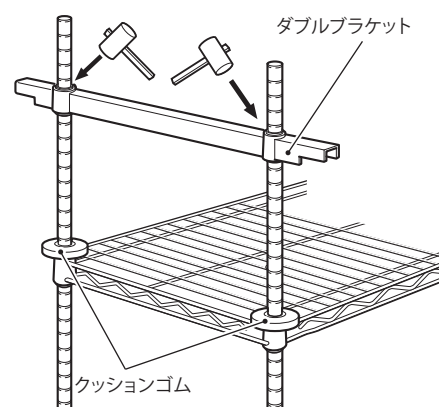
ご注意 エンドブラケットの向きに注意してください。



●中間固定ユニットを設置する場合

ダブルブラケットの組み付け

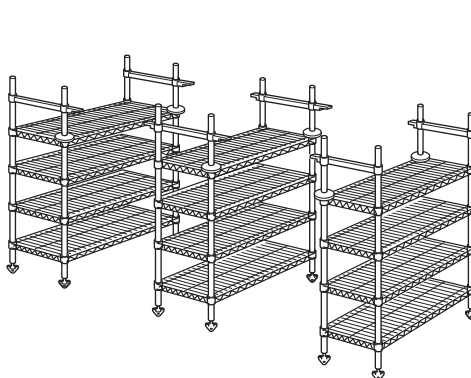
固定ユニットの組み立て 1～3 の方法で組み立て、ボールの上から「5番目」の溝にテーパーを取り付けて、ダブルブラケットを組み付け、木槌またはプラスチックハンマー等で打ち込み、固定します。



7 固定ユニット完成外観

全体が組み上がりましたら、棚位置の確認をし、木槌またはプラスチックハンマー等でたたきしっかり固定します。

ご注意 棚の位置がしっかりと水平に組み付いているかをもう一度確認してください。

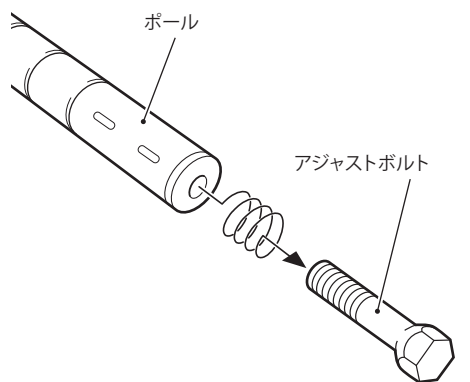


Ⅱ. 移動ユニットの組み立て

※組立時に本体が転倒しないようご注意ください。

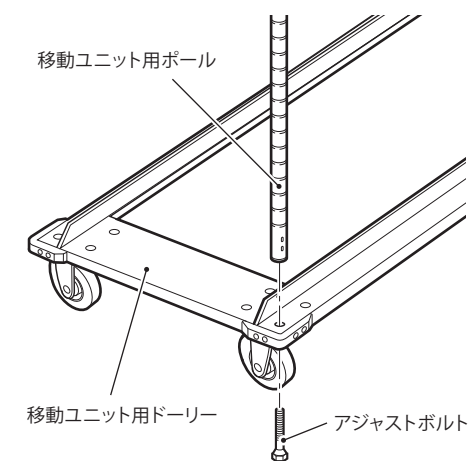
1 アジャストボルトの抜き取り

ボール下部についているアジャストボルトを抜き取ります。



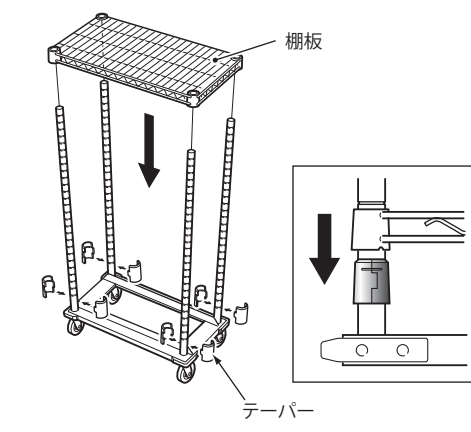
2 ドーリーにボールを組み付け

移動ユニット用ドーリーの四隅の孔に移動ユニット用ボールを合わせて、ドーリーの下からアジャストボルトをねじ込み仮止めます。棚を組み立てた後、ボルトを本締めしてください。



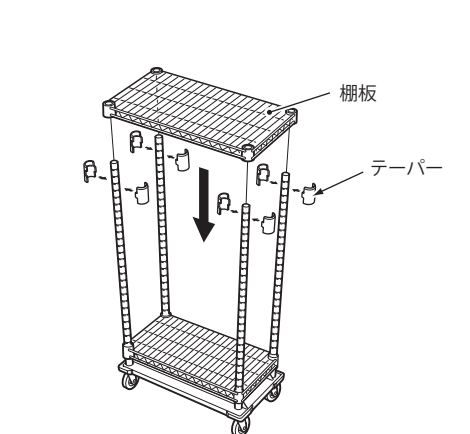
3 最下段の組み付け

テーパーを4本のボールの一番下の凹溝にテーパー内側の凸部を合わせて取り付けます。棚板を取り付け、木槌またはプラスチックハンマー等で四隅のコーナーリング周辺を交互にたたいて固定します。



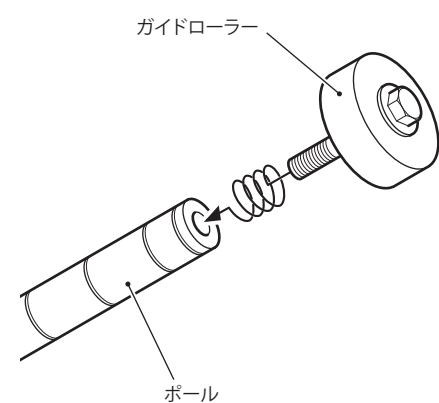
4 2段目以上の棚板を組み付け

各段の組み付け位置を確認し、2段目以降を組み付けます。



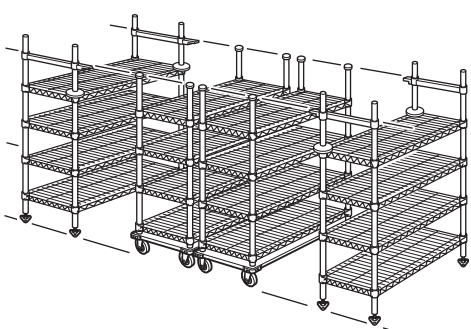
5 ガイドローラーの組み付け

ボール上部にガイドローラーをねじ込み、スパナ等で固定します。



6 組み立て、設置位置の確認

組み上がりましたら、フットプレートのレベル調整を行って、ゆがみやガタツキがないか、もう一度確認します。そして固定ユニットと移動ユニットを平行に設置位置に並べます。



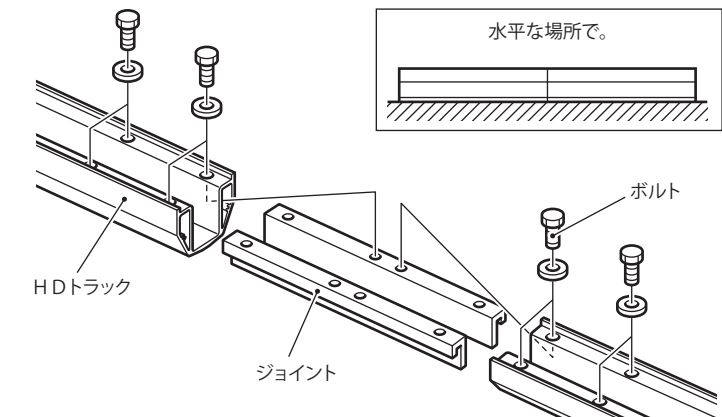
Ⅲ. HDトラックの組み立て

※組立時に本体が転倒しないようご注意ください。

ジョイントキットをご使用にならない場合は、3 エンドキャップ、ホワイトキャップの組み付けから組み立てを行ってください。

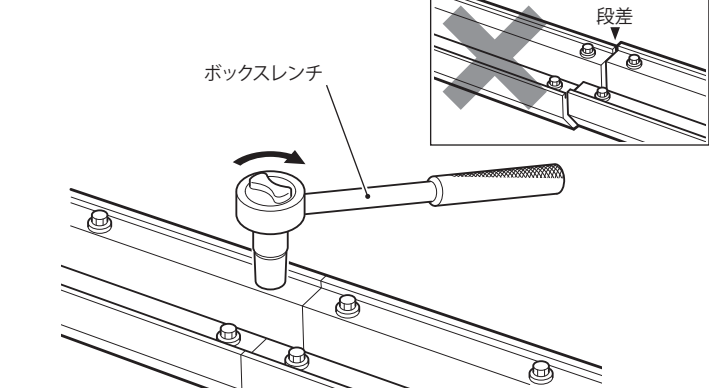
1 ジョイントの組み付け

HDトラックを水平な場所に置き、HDトラックとジョイントの穴位置を合わせ、ボルトで仮止めます。



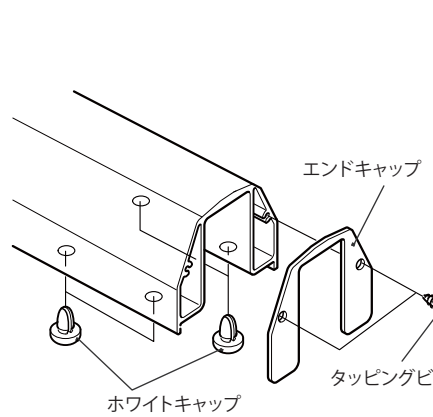
2 ジョイントの固定

HDトラックの継ぎ目に、段差がつかない様、注意しながらボルトを締め付けてください。



3 エンドキャップ、ホワイトキャップの組み付け

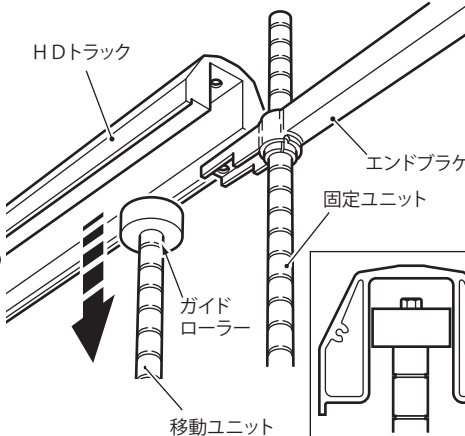
HDトラックの両端開口部をエンドキャップでふさぎ、タッピングビスで固定します。ホワイトキャップでHDトラック両端下部の穴(4×2箇所)をふさぎます。



4 HDトラックの組み付け

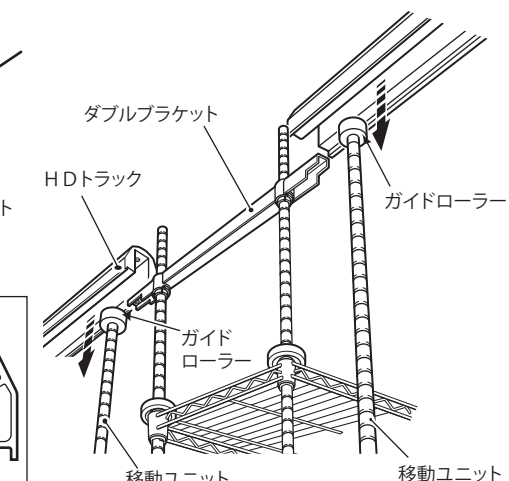
HDトラックの溝部を移動ユニット上部のガイドローラーに合わせ、固定ユニットのエンドブラケット上部に静かに載せます。

ご注意 HDトラックは落とすと危険ですので、注意して静かに固定ブラケットの上に載せます。



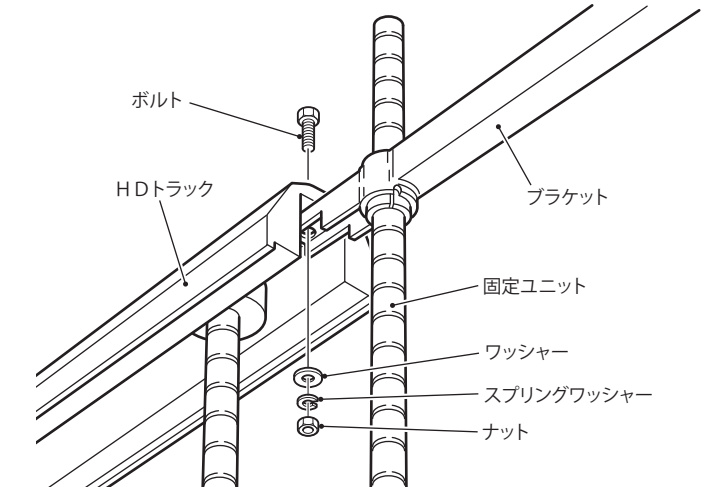
●中間固定ユニットを設置する場合

HDトラックの溝部を移動ユニット上部のガイドローラーに合わせ、中間固定ユニットのダブルブラケット上部の両側に静かに載せます。



5 HDトラックの固定

HDトラックとブラケットの穴位置を合わせ、ボルトとナットを組み込み、締め付けます。



6 完成チェック

全体が組み上がりましたら、各部のゆがみやガタツキ、及び移動ユニットがスムーズに動くことを確認し、ボルトを増し締めします。

ご注意 移動ユニットとHDトラックの関係がずれていないかを、もう一度確認してください。

